

# 数 学

【数学Ⅰ・A】出題形式は必答2題、選択2題の計4題で昨年通り。難易度は昨年よりやや難化。第1問では地図アプリの情報から角度について評価する。第2問の2次関数ではグラフ表示ソフトを題材とした会話形式の問題が出題された。第3問の条件付確率は意味の読み取りが難しい。第4問の整数は計算が複雑であるが誘導は丁寧。第5問の平面図形の問題では手際よく計算をした

い。

【数学Ⅱ・B】出題形式は必答2題と選択2題の計4題。難易度は昨年より難化。選択肢から正解を選ぶ設問が増加した。第1問は円と直線の共有点に関する図形と方程式が出題された。第2問の微分積分は標準的な設定で易しい。第4問の数列では漸化式を用いて歩行者と自転車の位置を考える新しい設定である。第5問の平面ベクトルでは図の場合分けが多く解答に時間がかかる。